



◎第2回・第3回協議会を開催しました

令和6年9月30日(月)に第2回協議会を開催し、令和6年度月形小学校・月形中学校の中間評価の説明が行われました。

また、令和7年2月27日(木)に第3回協議会と各部会を開催し、小・中学校それぞれの令和6年度の学校評価、令和7年度の学校経営方針が承認されました。

第2回協議会では、教科担任制や専科教員の加配などについて議論が交わされ、第3回協議会では、義務教育学校建設事業に関する質問や意見が出されました。

協議会の様子



第2回協議会
小学校のR6中間評価の説明



第3回協議会
中学校のR7経営方針の説明

◎第2回協議会の内容

○令和6年度中間評価

・月形小学校

島校長からは、4月から9月までの各教育活動が説明され、元プロサッカー選手の河合竜二氏を招いた道徳教育推進事業や中学校の体育科教諭の乗り入れ授業の実施、ものづくりマイスター派遣事業を活用した専門家による印章作りの指導などの紹介がありました。

全国学力・学習状況調査では全国平均を若干下回った状況、管内の他の学校と比較し少ないいじめの状況や不登校がゼロであること、また、低学年からiPadを駆使したICT授業などの説明を受けました。

・月形中学校

橋本校長からは、教職員に対して行ったアンケートでは、家庭学習習慣への反省点や教職員の資質の向上、ICTの活用、研修プラットフォームへの参加などの説明を受け、生徒アンケートでは、教師の授業の進め方について高評価を得ていること、保護者アンケートでは、家庭学習の課題について説明がありました。

全国学力・学習状況調査では国語・数学共に全国平均を上回った状況、また多様な人々と結びつく力や新しい価値を生み出す力が養われるよう教職員も教育活動を進めていくとの抱負を語られました。

○各委員からの意見や質問

各委員からは、義務教育学校に移行した際の小学5・6年生の教科担任制、小学校における専科教員の加配の困難性など、教員配置について熱心な議論が交わされました。



◎第3回協議会の内容

○報告事項

昨年7月に実施した「スクールランチ試食会アンケート集計結果について」の報告につづき、「義務教育学校建設事業について」報告があり、委員からは建設費の増大に対するふるさと納税基金の充当、事業規模の縮小やクラウドファンディングの活用に関する質問や意見が出されました。

○協議事項

「令和6年度小学校学校評価及び令和7年度小学校経営方針」と「令和6年度中学校学校評価及び令和7年度中学校経営方針」について、小・中両校長から下記のとおり説明があり、協議会としての承認が得られました。

・月形小学校

島校長からは、令和6年度の学校評価ではアンケート調査結果を中心に説明があり、児童アンケートでは「学校は楽しいですか」では80%強が肯定的回答、「授業はわかりやすいですか」では95%が肯定的な回答であるなど、概ね高い評価となった旨の説明がありました。

令和7年度の経営方針では、めざす子ども像として、①主体的に学び、夢に向かって粘り強く取り組む子ども、②元気なあいさつと思いやりにあふれる子ども、③健康でたくましい子どもの三つの目標と、その下に5つの重点を掲げ、令和7年度の教育活動を進めて行くとなりました。特徴的な事項として、算数科の加配教員の申請、体育エキスパート教員巡回指導^{注1}の取組について説明がありました。

・月形中学校

橋本校長からは、令和6年度の事業説明の後、アンケート結果については前期・後期を比較して説明があり、生徒アンケートでは、わかる授業、一人一人のよい点・可能性を伸ばす授業、ICTの活用の他全般的高評価となっているものの、計画的な勉強や授業の予習・復習で低い結果となり、小学校では80%を超える高評価であった「学校が楽しい」では生徒が70%弱と小学校より10ポイント低い結果との説明を受けました。保護者アンケートでは、家庭学習への働きかけが不十分と感じているとの回答でした。学校としての自己評価では、ほぼ小学校と同様の高い評価となりました。

令和7年度の経営方針では、すべての生徒が主体となる学びの実現として、授業時数特例校制度^{注2}の導入、スタディサプリ^{注3}の活用、単元別テスト^{注4}の実施について説明がありました。



◎各部会の内容

第2回協議会では、時間の都合上部会を開催できませんでしたが、第3回協議会では下記のとおり3部会を開催しました。

○小学校部会

時間講師の児童との係わりや支援員の配置、専科教員の継続配置について質問や意見が交わされた後、義務教育学校移行後の運動会、PTA活動、ボランティア活動、学校開放について議論が交わされました。

○中学校部会

説明のあった単元テスト、授業時数特例校制度について質問が出されたほか、不登校生徒、教職員の働き方改革、美術教諭の配置について協議されました。義務教育学校建設に向けて取り組んできたことなどを情報共有しました。

○地域部会

地域の人材を活用した様々なスポーツ教室の開催、小中学校のスキー授業へのボランティアの活用、出前授業の開催などの意見が出されました。

注1：岩見沢市立南小学校を本務校として、体育科の専門教員が岩見沢市内の他1校と月形小学校を巡回して授業を行う事業

注2：国・数・社・理・英の標準授業時数1割を上限として下回することを認め、他の授業を上乗せする制度

注3：ICT端末等を活用し、生徒の基礎知識学習をサポートする学習支援ツール

注4：ノートの持ち込みを認める単元別に行われるテスト。主体的な学習習慣が身につくとされる。